

パートナーシップでつくる 私たちの世界



国連の新しい目標 -2030年に向けて-

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>
<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p>		



一般社団法人 環境パートナーシップ会議 (EPC)



本冊子は平成 27 年度地球環境基金の助成を受けて作成しました。

SDGs (国連 持続可能な開発目標) を地域づくりにいかそう

CONTENTS

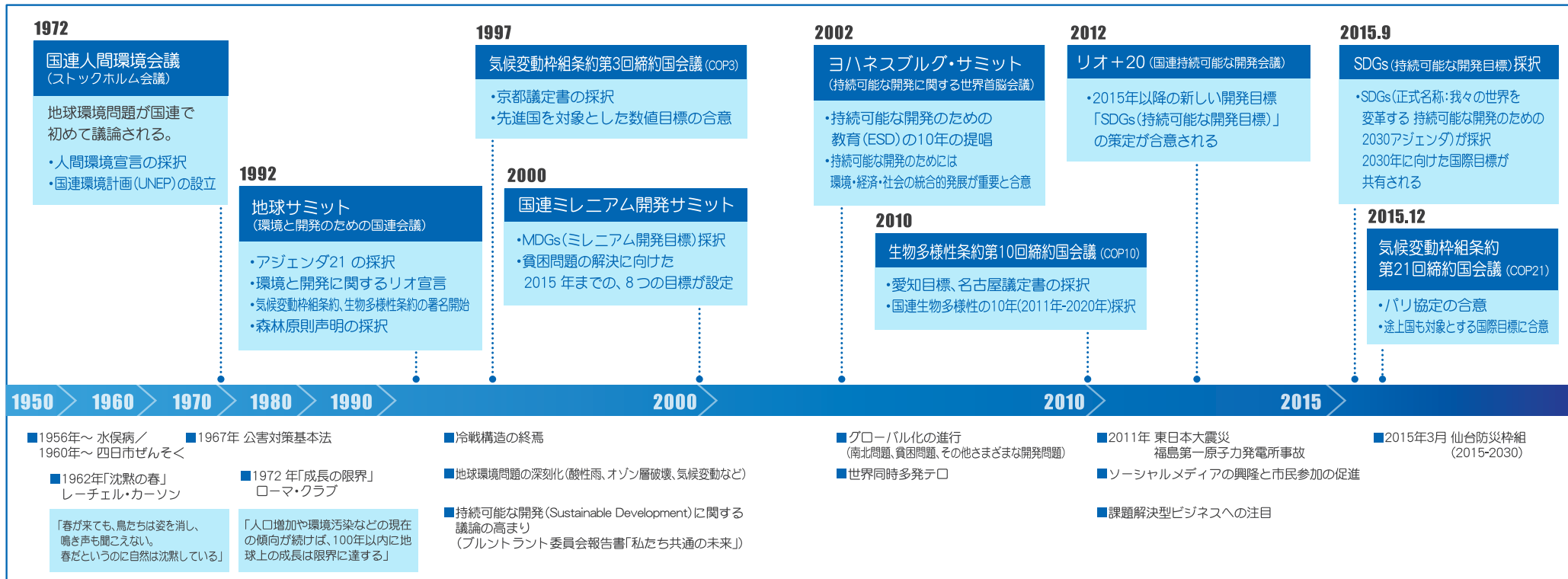
序 章	2030年の未来に向けて	2-3
第一章	SDGs(持続可能な開発目標)	
	SDGsとは	4-5
	17の目標	6-39
	分野横断的に考えよう	40-41
第二章	社会を動かすアクション	
	国際的な動き 持続可能な消費と生産の10年計画枠組み/SDG Compass	42-43
	地域からの発信 RCE道央圏/地域のカ診断ツール	44-45
	パートナーシップで解決する	46-47
	未来を創る ACE/Fair Finance Guide/食べる通信/地域円卓会議	48-49
	教訓を未来につなぐ ローカルアジェンダ21/未来を紡ぐヒント	50-51
	政策に働きかけよう	52

私たちは、 どんな未来を描いていくのだろう



2015年9月、国連で2030年までの未来に向けた国際目標「SDGs(持続可能な開発目標)」が採択されました。
 この目標の正式名称には「我々の世界を変革する」という、強い言葉が添えられています。
 気候変動、生物多様性の損失、貧困や格差、紛争や人権侵害など、世界にはさまざまな課題があふれています。
 これらの問題をさらに悪化させるのか、あるいは、解決に導くことができるのか。
 この先の未来をどのように描いていくか。その大きな問いが、投げかけられています。

開発・環境を巡る世界の主な動き



2030年に向けた17の目標 -SDGs-

社会の問題を解決し、よりよい未来を迎えるために、2030年に向けて世界が合意した、17の目標と169のターゲット、SDGs(持続可能な開発目標)。

そこには、世界のみんが力を合わせて、地球上のさまざまないのちのつながりや、その恵みを大切に、人権が尊重され、誰もが豊かさを感じられる平和な世界をつくらうという、ビジョンが掲げられています。

SDGsの各目標をよく読むと、それぞれの目標は互いに深く関連していることがわかります。

SDGsは、世界を取り巻くさまざまな問題に気づき、みんなで力と知恵を合わせていくための、道しるべとも言えるでしょう。



持続可能な社会をつくるために大切だとSDGsに示された5つの要素

- People (人間)
- Planet (地球)
- Prosperity (繁栄)
- Peace (平和)
- Partnership (パートナーシップ)

SDGs 持続可能な開発目標



我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ

- | | | |
|------------|-------------------|---------------------|
| 1 貧困をなくす | 7 誰もが使えるクリーンエネルギー | 13 気候変動へのアクション |
| 2 飢餓をなくす | 8 デイセント・ワークと経済成長 | 14 海洋資源 |
| 3 健康と福祉 | 9 産業・技術革新・社会基盤 | 15 陸上の資源 |
| 4 質の高い教育 | 10 格差の是正 | 16 平和・正義・有効な制度 |
| 5 ジェンダー平等 | 11 持続可能なまちづくり | 17 目標達成に向けたパートナーシップ |
| 6 きれいな水と衛生 | 12 持続可能な消費と生産 | |

SDGs、ここがポイント

先進国の人たちの暮らし方が大きな影響を与えています

世界の問題は、複雑に影響を及ぼし合っています。途上国の貧困問題を解決するには、先進国の人たちが今のライフスタイルを見つめ直すことも大切です。

気候変動や格差社会の拡大など、普遍的なテーマを扱っています

SDGsは国際目標ですが、国内の貧困・格差、ジェンダー平等など、足元にある普遍的な課題にも関係しています。解決のためには、地域からのアクションが必要です。

国も、地域も…みんなが力を合わせて取り組みます

SDGsをつくるための会議では、市民社会の声も大切にされてきました。目標の達成のためにも、国や地域社会、企業や専門家などのみんなの意見や行動が必要です。

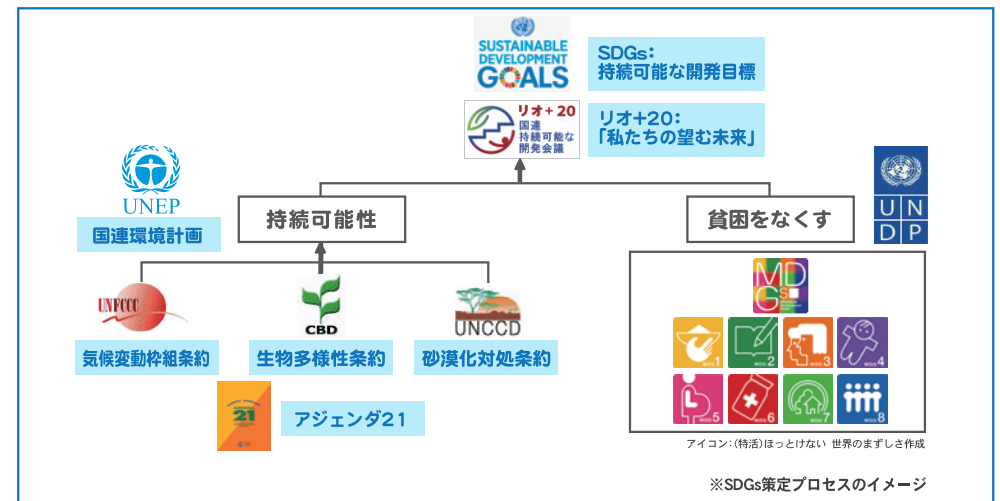
誰も置き去りにしない

これは、SDGsを象徴するキー・メッセージです。マイノリティや社会的弱者も含む多様性(ダイバーシティ)豊かな、包摂的な(インクルーシブ)社会を目指します。

SDGsのつくられたプロセス

SDGsは、「持続可能な社会の実現」を目指す環境課題への取り組みと、「貧困をなくすこと」を目指す開発課題への取り組みを統合する、包括的な話し合いを通じて誕生しました。この目標の実現に向けて、各国は国内での実施体制を整えています。2016年からは毎年、国連でハイレベル政治フォーラムが開催され、SDGs達成に向けた取り組みや進捗状況が話し合われます。

2030年に向けた新しい目標SDGsは、持続可能性と貧困問題の解決を目指す、包括的な目標です。



※SDGs策定プロセスのイメージ